

共創

レガシー

2020年東京五輪開催が決まった。1964年の東京五輪以来56年ぶりの日本開催であり、今から楽しみでならない。前回大会の時は小学生であったが、あの真っ赤なブレザーで、小関裕而作曲の「オリンピック・マーチ」の入場行進曲に合わせて入場する日本選手団の雄姿を鮮明に覚えている。生きている間に生で世界最高峰のスポーツの祭典を観戦できるチャンスが巡ってきた。

私は、今までのオリンピックで選手が放った言葉で印象強いのは、1992年のバルセロナ五輪の競泳女子200メートル平泳ぎで14歳の金メダルに輝いた、岩崎恭子さんの「今まで生きてきた中で一番幸せです。」と、アトランタ五輪で銅メダルを取った時の有森裕子さんの「・・・初めて自分で自分をほめたいと思います。」もう一つ、北島康介さんの2004年のアテネ五輪で金メダルを取った時の「ちょ一気持ちいい！」と、2008年の北京五輪で、世界初となる「男子100メートル平泳ぎ2連覇」を達成した直後の喜びのコメント「なんも言えねー」が印象強く残っている。それは、事前に考えてきた言葉ではなく、その瞬間に感じたことを真っすぐに伝えたから、観ている人に感動をもたらしたのだと思う。

世界の舞台で結果を出すような人々は、人一倍の練習と努力を積み重ね、計り知れない苦労や重圧があったに違いない。



私たちは、金メダルに感動するのではなく、その伝える言葉から、計り知れない苦労や重圧が想像され、その人の人間味が見えたときに心を打たれるのではないだろうか。

今度の東京五輪で、どれだけのレガシーが残るか？今から楽しみでならない。

編集委員 喜多 進

《編集委員会》

編集委員長 門前 昌志（阪神化成工業（株））
編集委員 喜多 進（株大樹）
西村 源信（三光合成（株））
柴野 恒夫（株）リッヂエル
林 延幸（株）タカギセイコー

とやま県プラ

富山県プラスチック工業会

（富山技術交流センター内）
〒930-0866 富山市高田529番地
TEL (076) 442-0309 FAX (076) 442-0310
URL <http://www.kenpla.jp> E-mail info@kenpla.jp

表紙写真提供 青海 正和氏

編集後記

会報は、色々な方々から寄せられた原稿や写真、事業に参加された人々の感想等、多くの方のご協力によって会の歴史が残されています。

先日、「親の雑誌」なるものがあることを知りました。内容は本人の生い立ちから現在までの歴史を、面談や電話での取材、写真撮影、編集等を行って冊子に纏めたもので、40代の子供さんからのプレゼントとして申し込まれる様です。

知っている様でほとんど知らない親の歴史、孫の代になると全く忘れられた歴史を冊子など何かの形で残すことは、家族の歴史を知る良い機会になるのではないかでしょうか。

事務局長 福島（記）

とやま県プラ



～富山市西町より(キラリとライトレール)～

CONTENTS

- 2 会長メッセージ
- 3 下期理事会
- 4 トップインタビュー
- 6 シリーズプラスチック業界：提言
- 7 シリーズ海外経済・世情
- 9 総務委員会レポート
- 10 技術委員会レポート
- 12 各種技能検定
- 13 研修講習事業報告
- 14 会員企業による景況調査
- 15 プラスチック関連データ
- 16 共創

富山県プラスチック工業会

2016.1 No.37

新年に寄せて

富山県プラスチック工業会
会長

高田順一



新年明けましておめでとうございます。
皆様には良き新年をお迎えになられたこととお喜び申し上げます。

昨年は富山県プラスチック工業会の運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年3月14日東京と富山をかがやき号が2時間8分で結ぶ北陸新幹線が開通いたしました。昭和40年金沢市で開催された『一日内閣』で砺波商工会議所会頭岩川毅氏が佐藤栄作総理大臣に北回り新幹線の必要性を訴えてから半世紀が経過していました。その間実施時期の延期があったり、ミニ新幹線構想を提示されたりと糾余曲折がありましたので、全ての富山県民の夢が実現した瞬間でした。私はテレビが伝える興奮、熱狂を確かめるため富山駅に出かけましたが、まさにお祭り騒ぎの様相を呈していました。以来、新幹線効果は県内の隅々まで浸透したのではないかと思います。北陸への乗客数は年末になんでも落ち込むことはありませんでした。

私が年末の挨拶に伺った先で必ず話題になつたのも北陸新幹線でした。富山がこんなにも近くなつて驚いたと多くの方が感想を述べておられました。積雪対策も十分でしょうから冬場も定時運転が期待されます。ほくほく線でよく見られた強風で列車が動かなくなることも、羽田空港で飛行機が飛ぶか、富山に降りられるかと気を揉むこともなくなると思います。あとは敦賀以西の路線を確定させ、一日も早く京都、大阪へ北陸新幹線が延伸することです。

昨年は年末にかけて長年にわたる懸案事項の展望が開けました。

10月アトランタで行われた環太平洋パートナーシップ（TPP）閣僚会合において、TPP交渉が大筋合意に至りました。甘利大臣は12か国が参加するTPPで国益を戦わせる交渉は相当に厳しいと話されていましたが、よくまとめていただいたと感謝の気持ちで一杯です。参加国の議会審議が控えていますが、既にアメリカかニュージーランドで協定署名式典を行うとの報道がなされています。日本の国益に資する協定であると信じますので早期の批准、発効を期待いたします。

12月パリで開催された国連気候変動枠組条約第21回締約国会議（COP21）は2週間の交渉の末、世界の気温上昇を2度未満に抑えるための取り組みに合意し、パリ協定を採択しました。世界196か国の国・地域がすべて温室効果ガス削減を約束するのは初めてという画期的な協定となりました。温暖化対策は地球で暮らしていく全ての個人、企業、国などが責任を果たさなければなりません。私たちができる役割をしっかりと認識したいと思います。

12月24日高浜原子力発電所の再稼働差し止め仮処分を取り消す福井地裁の判断が示され、稼働への道筋が開かれました。エネルギー問題、安定した電力供給は我々会員企業にとって重大関心事項です。

本年はこのような私たちに密接な諸問題が今後どのように推移していくのか注視して参りたいと存じます。

会員企業のご発展と皆様のご健勝をご多幸を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

下期理事会

【1】平成27年度下期理事会開催

平成27年10月22日(木)YKK AP株の会議室にて、高田会長をはじめ21名の役員が出席され、上期事業報告、上期収支決算報告、下期事業計画等の審議を行い、いずれも承認されました。

又、以下の内容について報告がありました。

- ・富山県プラスチック工業会 共催 HRT&工業会会員 懇親ゴルコンペの結果と来年の開催予定について報告。
- ・押出成形関連設備の移設後の設置、稼動状況について報告。

【2】YKK AP株視察

理事会開催前に、YKK AP株黒部事業所・展示館を見学しました。

同グループは、「ファスニング事業」「AP事業」両事業の一貫生産を支える「工機」によるグローバル事業経営と、世界6極による地域経営を基本として、71カ国／地域で事業活動を行っています。

まず、会議室にて会社概要について、続いて展示館にて一貫生産されるファスナー、住宅関連の製造工程や、更に環境等に配慮した商品等について説明を頂きました。

又、創業者 吉田忠雄記念館では、同氏が常に事業活動の基本としてきた「善の循環」の考え方、そして現在もその考え方を受け継いで「YKK精神」としているとの説明がありました。



YKK AP株



YKK AP株

平成27年度 第6回 中部地区プラスチック業界団体懇談会開催

平成27年10月16日(金)に、石川県プラスチック成型加工工業協同組合主催の「平成27年度 中部地区業界団体懇談会」が金沢市 石亭にて開催されました。

当工業会からは、延澤副会長、八十島副会長が参加され、視察先として石川県工業試験場と金沢工業大学を見学しました。

石川県工業試験場では、三種類の三次元造形機が設置され多くの中小企業の方々に利用されていました。樹脂用3Dプリンタは、三次元CADデータを基に熱溶融積層方式で多数の試作品を作っていました。

次に金沢工業大学革新複合材料研究所では、次世代の材料と成り得る熱可塑性炭素纖維複合材の一大生産拠点作りに取り組んでおり、フィルム成形押出機で熱可塑性CERPシートを試作し各種評価試験を行っていました。

懇談会では、それぞれの団体から各地域の経済情報や課題等について報告され、次回は岐阜県での開催を確認、懇親会も大盛り上がり閉会となりました。



石川県工業試験場

未来を夢見て

戸出化成株式会社
代表取締役社長

高畠 敏夫 氏



創業から48年、諸先輩方の夢を胸に、笑顔が絶えない高畠社長に、社業や社員教育、又「社歌」への思い、そして将来へ向けての開発等について、インタビュー初挑戦の林会報編集委員が伺いました。

【インタビュアー：会報編集委員

（株）タカギセイコー 管理本部長 林 延幸氏】

1. 創業の経緯と社業・社歴をご紹介ください。

創業は、昭和42年に母の高畠幸子が農家に嫁いだお嫁さん達の安定した収入にと、当時、高岡地区で多くつくれられていたアルミ製品の鍋や窓の研磨、そしてプラスチック製品のバリ仕上げを人海戦術による内職仕事にしたのが始まりです。

昭和50年、事故をきっかけに女性でも安心して作業の出来る仕事はないかと、たまたま親戚筋に導入予定の射出成形機を引き受けことになったのが、プラスチック成形に携わるきっかけでした。

昭和52年、本社工場を新築した際に、立山アルミ創業者の故竹平榮次様から稻葉心田氏の書「和」を頂き、従業員との「内なる和」と、お客様、協力工場様、地球環境、地域社会との「外なる和」をもって経営にあたる様にご指導を頂き、それ以来、我が社の「社是」としております。

入社したての私は成形の経験が無く、成形機の故障修理専門として昼夜を問わず無我夢中に働いたことを今も思い出します。そして、先輩の皆様からも信頼して頂ける様になりました。

平成18年には砺波工場を新設しました。本社工場は「建材分野の生産拠点」、砺波工場は「電気電子、自動

車部品の生産拠点」として、分野毎の管理体制と経営の安定化を図り現在に至っております。

2. 「社歌」が作られた経緯や歌詞に込められた思い等についてお聞かせください。

15年前に濱谷会長（当時 社長）のお母様が亡くなり、遺品の中から息子の将来を思う母親の気持ちを書き綴った詞が発見されました。

詞は、息子の会社がもっともっと伸びる様にと思いつめた内容のもので、これを機会に従業員にも知つてもらいたく「社歌」といたしました。

現在も、年2回お盆の休日前と仕事始めの日に従業員全員で合唱し、社内の団結を深めています。

3. 平成24年に「子育てサポート企業」として厚生労働大臣に認定され「くるみん」マークを取得されていますが、そのきっかけについてお聞かせください。

当時、県からの後押しと創業者が女性であったことや創業の理念・思いと一致したことから取り組むことになりました。

現在、社員構成の約60%が女性であり、女性を大切にすることは当社の存続には必要不可欠なことです。「産休」「育児休暇」「育児の為の時短」等、これをきっかけに社内の制度を整備し、今年、第2回目の認定を受けました。今後は20代、30代の女性の比率を高めることが必要であり、更に安心して長く働いてもらえる様に「働きやすい職場や環境作り」を進めています。

創造力と先進性を、豊かな文明のために

株式会社 碓井製作所

〒930-0357 中新川郡上市町正印3の1
TEL (076) 472-4605
FAX (076) 472-2908

人と技術を結ぶパートナー

金森産業株式会社

本社 〒933-8558 高岡市昭和町1-4-1
TEL (076) 25-0123(代) FAX (076) 26-5663
支店・営業所 東京・大阪・富山・金沢・福井
<http://www.kanamorisangyo.co.jp/>

4. 社員教育の重要性、人材育成について、どのように進めているかお聞かせください。

「新人」「中堅」「監督者」の層別社員教育と、個々に「安全教育」「職能別教育」「ISO教育」等を行っています。又「年間カリキュラム」より、6~7年前から14ブロックに分けてQCサークル活動も実施しています。年2回の社内発表会（1回に7ブロックが発表）を行い、現在も外部講師やアドバイザーを招いて活動を継続しています。

更に改善提案活動も行っています。当初は年間100件だったものが、現在は、10倍の1,000件の提案が提出されるまでになりました。表彰制度、賞金制度、そして年間MVP賞には更に2日間の有給休暇をプラスにする等、従業員の改善活動が益々充実する様に応援をしております。

5. 3Dプリンターを導入された経緯についてお聞かせください。

導入は9年ぐらい前になります。導入の目的は、お客様から頂く図面では、デザイン的に品質が加味されてなく不具合の発生が予測されることから、デザイナーさんに品質面について納得して頂く為に導入しました。又、これまで軟質のプラスチック部品は金型を作らないと検証できなかったものを、「軟質用ゴムライクの3Dプリンター」を導入することで、事前に問題点を回避する技術的提案を行うことが出来、他社より先に存在価値、信頼をして頂き次の受注へ繋がってきました。

6. 従業員の方に望まれること、伝えたいことはなんでしょうか。

従業員の成長無くして当社の成長も無い信じています。従業員の皆さんには社員教育を通じて「愛社精神」「自己啓発」「自己改革」と更にレベルアップをお願いします。結果、会社自身も永続的に伸びると信じております。そして部門毎の目標管理においても、達成に向けて継続する力や上司と部下とのコミュニケーションの大切さを感じ、会社の発展に寄与してもらいたいと思っております。

7. 座右の銘についてお聞かせください。

座右の銘は「一期一会」です。一生に一度の出会いであり誠心誠意その方に接する。色々の方との出会いや人との関わりの中で自分が生かされていると常に思っています。ですからこの「一期一会」という言葉を大事にしております。



高畠社長とインタビュアー

8. 開発状況について

現在、子会社の「株戸出O-Fit」にて進めています「戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）」で、今年で3年目になります開発について紹介します。開発の内容は、県内の活用されていない資源をプラスチック材料と混ぜて資源化する事業です。「火力発電から発生するフライアッシュ」や「富山県産スギの間伐材やダムの流木、街路樹の選定枝の木粉」そして「アルミ工場から発生するアルミスラッジ」などを、プラスチック原料（PP）と練り込み、機能性を持たせたプラスチック樹脂の開発です。

今後も産学官（富山県、大学、企業）の協力を得ながら、まさに10年先の当社を支える事業にして行きたいと思っています。

《インタビュアー後書き》

お忙しいところインタビューにお応えいただき誠にありがとうございました。高畠社長の従業員を大切にされている気持ちがしっかりと伝わってまいりました。合わせて社員の成長が会社の成長につながると信念を持って取り組まれていることがよくわかりました。また、将来に向けた夢のある開発にも取り組まれ、さらなる成長が期待できるものと思いました。

会社概要

- ・会社名称 戸出化成株式会社
- ・所在地（本社・工場） 富山県高岡市戸出西部金屋414
- ・会社創業 昭和42年 高畠研磨工場として・創業
- ・会社設立 昭和52年11月
- ・代表者名 高畠 敏夫
- ・資本金 9,800万円
- ・事業内容 各種プラスチック製品の成形加工及び販売（建築サッシ関連、電子部品関連、日用品、家電関連、自動車部品関連）
- ・関連会社 （有）トイデ通商、（株）戸出O-fit

新たな产学連携を見据え、 担い手人財の育成を提言

富山大学 研究推進機構 産学連携推進センター
知財・リエゾンオフィス コーディネーター
岡田 哲朗 氏



輝かしい新年を寿ぎ、富山県プラスチック工業会会員企業様の益々のご発展をご祈念申し上げます。

さてこの度、富山県プラスチック工業会の会報に寄稿させて頂くことになりました。筆者は昨年（H27）5月から富山大学に奉職して8ヶ月が過ぎましたが、この格式のある会報に寄稿させて頂くことを畏れ多く感じておりました。しかしながら、昨年（H27）3月末日までこの業界団体の事務局長を拝命していたご縁から、謹んでこの稿の執筆をお請けした次第です。

思うに、企業と大学の両方に足場を置いて見える世界は真に斬新であり、刺激に満ちた世界が広がっております。

まず初めに、富山大学で毎週土曜日に企業人向けの研修制度として実施している『スーパーエンジニア養成コース』の1つ、『プラスチック産業特論』が平成26年度に開講されて以来、はや2年が過ぎました。1年目の受講者が39名、2年目の受講者が32名と好調に推移しており、富山県プラスチック工業会会員企業様から選ばれた達人講師を中心となって、周到な準備のもと、理論と実践の技術の神髄を解りやすく説明してくれます。

世の中には多種多様のセミナーや講習会等が数多く開催され、其々に魅力や収穫があるでしょう。それらと比較しても、約2ヵ月をかけて土曜日の午後半日に実施する『プラスチック産業特論』は、コスト／パフォーマンスが格別に優れる注目事業に進化しております。もう一つの魅力は、このカリキュラムの中で選ば

れた同業社様の工場見学ができます。座学での学びも魅力満載ですが、同業他社様の工場見学は富山大学の人財育成事業なればこそ実現できるものと受け入れ企業様に感謝しつつ、充実した研修の場として活用させて頂いております。平成28年度の『プラスチック産業特論』は8月に開講の計画ですので、ぜひ新たな受講申し込みをお願いし、期待と歓迎を以ってお待ちしたいと存じます。

『プラスチック産業特論』を受講される方々は、ご自身の向上心は勿論、自発的な熱意溢れる方々であり、各企業様に於いて必ずや大志を抱くキーパーソンに育っていく方々であると信じて止みません。これは毎回講義に同席していて、冷静に評価していることです。それ故、受講中は勿論、修了後も周りからの温かいご支援を継続して頂きたいと思います。このような仕組みが受講者の更なる自信を育て、力量の進化をもたらすことでしょう。

富山県プラスチック工業会には30年来の『大願』があります。それは、富山県内の大学でプラスチックの研究に取り組む研究者／研修室の招聘・創設です。製造業の海外移転が様々な形で進むこの時代には、新しい形でのプラスチックの研究が益々望まれます。そして、このような研究者／研究室を核にして、県内外や海外あるいは他分野・業界との新たな連携を推し進めることが、本県のプラスチック産業の時代に即した末永い成長発展を確約するものと信じます。

北日本ビニル株式会社

本社・工場 〒930-0862 富山市有沢162番地 TEL(076)421-7713(代)
FAX(076)491-4567

有沢工場 〒930-0862 富山市有沢15番地 TEL(076)425-7625

KITANIHON

営業品目
熱硬化性樹脂成形材料
熱可塑性樹脂成形材料
各種成形機、合理化機器

黒田化学産業株式会社

本社 〒930-0069 富山市旅籠町4番2号
TEL(076)424-3291
新潟営業所 〒959-1288 新潟県燕市燕1233-4
TEL(0256)62-5105

カンボジア近況レポート

株式会社タイワ精機
代表取締役社長 高井 良一 氏

ルと左ハンドルの差とは違い、短粒種用とは精米方法が異なるため全く別の機械を開発する必要がありました。その試験のためには現地のお米を大量に用意する必要がありました。卵は種として扱われるため日本へ輸入することが出来ません。そこで先述したように、現地法人を設立し機械を現地に輸送・設置して試験を繰り返す必要があったのです。その後ようやく正式に生産・販売を開始することとなり、2013年10月に第1号機が出荷となり今日に至っています。

私が初めてカンボジアの地を踏んだのは2010年の2月でした。真夜中に到着したこともあり、真っ暗な中に現地の人達の大きな目だけが光って見えて、正直「こわい」というのが第一印象でした。加えて初めての東南アジアでしたので、お決まりの腹痛を起こしてしまい散々な初訪問であったことを思い出します。（現地駐在の邦人の方からは、しばらく通えば腸内細菌が入れ替わるから、日本へ戻ったときの方が調子が悪くなるようになるよ、と言われ実際にそうなりました！）

【カンボジアの経済状況】

カンボジアの経済情勢を見てみると、年平均約7%の経済成長を続けており、一人当たりのGDPは1000ドルを超えたあたりです。産業は農業とアンコールワットに代表される観光の二本柱となっており、工業化はまだまだという状況です。特に電気料金が近隣国（ベトナム0.1\$/kWh、カンボジア0.2~0.3\$/kWh）の2倍と高く（ベトナム0.1\$/kWh、カンボジア0.2~0.3\$/kWh）その影響は大きいと思われます。多くの製造業が進出して来ていますが、縫製業や製靴業を中心とした労働集約型企業が多いのが現状です。弊社



の精米プラント一式を寄贈し表彰を受けましたが、その機械は短粒種（ジャポニカ）用のものでしたから、カンボジアの長粒種（インディカ）には少々無理がありました。世界でお米を主食としている国々は多いのですが、その85%は長粒種です。我々日本人が普通だと思っている短粒種は、実は少数派なのです。つまり、弊社にとって日本国内のすべてが縮小していくことが明らかになっている以上、長粒種への挑戦は必然と言えるのかもしれません。

ひと言で長粒種用の精米機と言っても車の右ハンド

樹脂が持つ可能性を追求して、
新・快適を提案していきます。

建築用ガスケット・硬質異形成形品・射出成形品

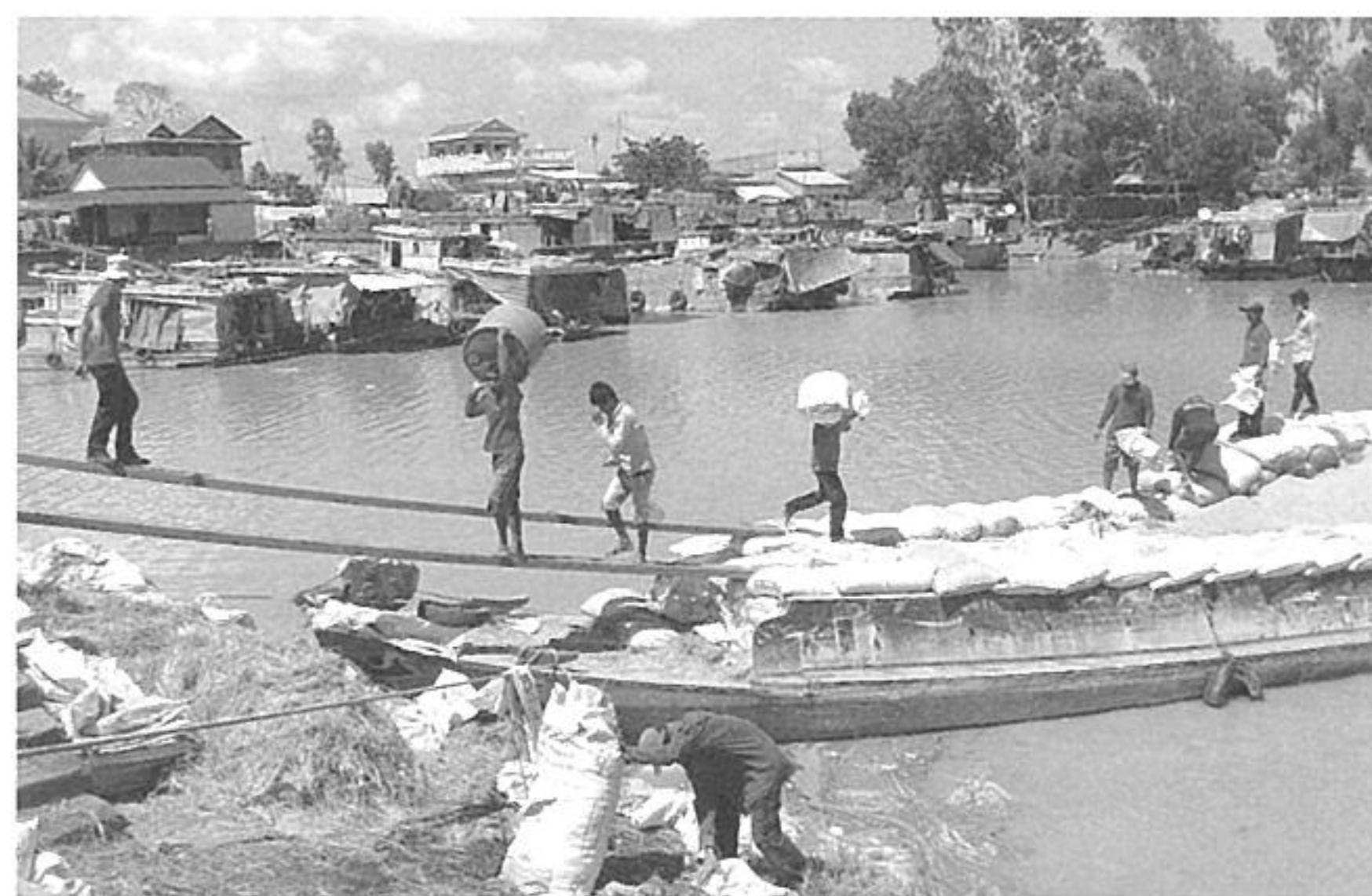
三協化成株式会社

本社・工場／高岡市福岡町下向田3-1 TEL(0766)64-4000(代)
<http://www.sankyokasei.co.jp/>

自由な風土の小規模技術集団

三晶MEC株式会社

〒936-0861 滑川市中新1029-1
TEL 475-7195(代)
FAX 475-2924
<http://www.sanshogiken.co.jp>



階ではタイ、ベトナムより価格は安いのですが、輸出段階でのFOB価格が最も高くなるのは何故でしょうか。先般行われたフィリピン国家食糧庁の10万トンの入札でも四年連続で敗退となりました。(ベトナムが落札)最初の訪問から五年余りが経ちましたが、カンボジアを愛するがゆえに歯がゆい思いが致します。特に、米輸出を柱にすることが明確なだけに、国を挙げて取り組んで欲しいと願っております。

【最後に】

私がカンボジアを往復しつつ思うことを最後に少々書かせて下さい。私のカンボジアへのルートは富山空港→韓国仁川空港→プノンペン空港です。仁川空港では5時間の乗継ぎ待ち時間がありプノンペンへは深夜到着となるのですが、ほぼ同時刻に中国からの飛行機も到着します。すると小さなプノンペン空港は中国語と韓国語の大喧騒状態。日本からの直行便を切望します。現地の中心部では大体英語が通じますので、中国英語で充分な意思疎通が出来るのは本当にストレスを感じません。加えてほぼ全ての施設でwifiフリーですのでネット環境も万全です。2020年に東京オリンピックが開催されますが、直行便と英語力(表示も含めて)、そしてネット環境を何とかして欲しいと思いつつ通っております。



【カンボジアのお米事情】

話を弊社の米関連に戻しますと、先述した電気料金に加えて、米を運ぶ運賃も近隣国に比べて割高となっています。タイの約三倍、ベトナムの約二倍であり、1トンの米を100km運ぶのに15\$かかります。米を輸出の柱に据えようとしているのは理解できますが、そのプロセスが良く見えません。農家の庭先での集荷段

安全と清潔を売る包装の
株式会社 大樹
本社 〒939-0418 富山県射水市布目沢201
TEL(0766)53-1331(代) FAX(0766)53-1330
URL <http://daiki.org>

-Plastic 豊かな未来をひらく-
太平株式會社
TAIHEI Co., Ltd.
代表取締役社長 石崎直樹
〒939-1690 富山県南砺市福光737
本社・本社工場 TEL(0763)52-1136
高宮工場 TEL(0763)52-1216

総務委員会レポート

青年部会研修会

●第1回青年部会研修会

平成27年7月29日(水)当工業会事務所のある富山技術交流センター2階研修室にて13名の参加者を得て開催いたしました。

講師として、当工業会副会長でもあり三光合成(株)特別顧問の梅崎様に講演して頂きました。

題目に相応しく、大きなジェスチャーを交えながらアグレッシブな経営姿勢を披露して頂き、受講者からは今回の研修を必ず活かして行きたい、有意義なものにして行きたいと力強い言葉があり、大きな収穫を得ることが出来た貴重な時間となりました。

講師 三光合成(株) 特別顧問 梅崎 潤氏

演題 「夢を追いかけて」



★受講感想 株横山製作所 横山 公昭

梅崎様のご講義を拝聴させていただき、その温かなお人柄と夢を実現させる為に夢を追いかけておられる姿勢に感銘を受けました。

企業経営に携わる者として、とても貴重なご講義を頂けたことに感謝致します。

今回の学びを活かすべく、日々の業務の中で実践していきたいと思います。

●第2回青年部会視察研修会

平成27年11月17日(火)朝日印刷(株)のご厚意により富山工場の視察に、12名の参加者を得て、開催いたしました。会社概要の説明後、二班に分かれて第一工場(OTC医薬品パッケージ)の工程順に、最新鋭の生産設備・システム導入による高生産性、高品質、低コストの実現や製造環境の徹底等について説明を受けました。

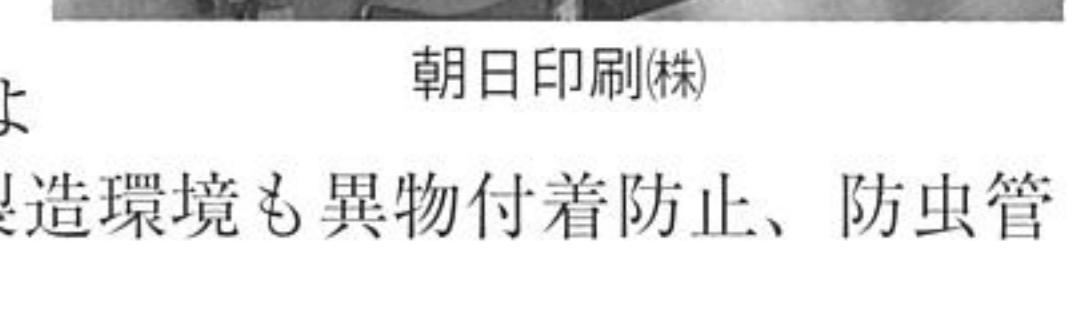
部員からは視察の途中や視察後に多くの質問が上がり、今後の社業発展に活かして頂ける有意義な研修になりました。



★視察感想 阪神化成工業(株) 谷口 政博

今回、朝日印刷(株)の工場見学をさせて頂き、医薬品及び化粧品の箱やラベルなどの製造工程を見学させて頂きました。

製造工程では生産効率を最適化する為に自動化された一貫ラインとされていることが強く印象に残りました。また品質管理では箱やラベルはカメラによる全品検査、そして最終は人による検査の体制とされ、またそれを作り出す製造環境も異物付着防止、防虫管理と数々の工夫と努力が見られ、大変に勉強になりました。



朝日印刷(株)

第2回労務研修会

平成27年10月7日(水)富山技術交流センター2階研修室にて16名の参加を得て開催いたしました。約8割の方が総務、人事の関係者の参加でした。

「セクシュアルハラスメント、パワーハラスメント」とともに、同じ内容の対応であっても相手の受け取り方で該当する場合があること。防止の為には、普段から社員全員を対象とした「普及・啓発活動」や、早期発見・再発防止に努めることが必要であり、もしもの場合は「苦情処理委員会」を設け原因の追究と再発防止、事後処置を行う規定の必要性について説明があった。

研修後の質疑応答にも身近な問題から多くの質疑が上がり、片境先生からは判りやすく説明があり更に理解を深める事ができた研修でした。

講 師 片境社会保険労務士事務所 所長 片境 貢氏

演 題 「セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント防止に関する規定作成と留意点について」



★受講感想 北酸(株) 西 真緯

多くの方と接する営業職のため、言動についてより注意すべきという思いを強くしました。

出張時の付き合い方など、意外な場面でハラスメントと受け取られる事例を伺い、社内会議で取り上げたいと考えています。

社会は人とのつながりで成り立っており、自身も不快と受け取られないよう周囲と接していくたいと思います。

各種技能検定

平成27年度プラスチック成形技能検定合格状況

射出成形（1級）

	年 度	受 檢 申請者	学 科			実 技			技 能 士	
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率	合格者	合格率
富山県	平成23年	52	26	23	88.5%	52	3	5.8%	3	5.8%
	平成24年	60	28	19	67.9%	58	9	15.5%	9	15.0%
	平成25年	46	19	15	78.9%	45	8	17.8%	8	17.4%
	平成26年	46	21	13	61.9%	45	12	26.7%	12	26.1%
	平成27年	37	16	11	68.8%	37	7	18.9%	7	18.9%
全 国	平成23年	1,801	911	587	62.7%	1,637	485	46.6%	467	32.8%
	平成24年	1,804	998	615	61.6%	1,612	451	28.0%	427	23.7%
	平成25年	1,831	1,031	658	63.8%	1,607	443	27.6%	448	24.5%
	平成26年	1,810	964	691	71.7%	1,595	470	29.5%	491	27.1%
	平成27年	1,702	899	686	76.3%	1,532	359	23.4%	385	22.6%

射出成形（2級）

	年 度	受 檢 申請者	学 科			実 技			技 能 士	
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率	合格者	合格率
富山県	平成23年	105	80	64	80.0%	95	53	55.8%	57	54.3%
	平成24年	82	60	31	51.7%	74	47	63.5%	37	45.1%
	平成25年	101	84	71	84.5%	83	56	67.5%	69	68.3%
	平成26年	63	46	29	63.0%	60	28	46.7%	27	42.9%
	平成27年	65	58	38	65.5%	59	19	32.2%	19	29.2%
全 国	平成23年	3,518	2,408	1,509	62.7%	2,955	1,376	46.6%	1,277	36.3%
	平成24年	3,714	2,615	1,373	52.5%	3,010	1,383	45.9%	1,224	33.0%
	平成25年	3,531	2,508	1,843	73.5%	2,730	1,234	45.2%	1,439	40.8%
	平成26年	3,287	2,169	1,213	55.9%	2,764	1,253	45.3%	1,128	34.3%
	平成27年	3,132	2,198	1,430	65.1%	2,577	1,108	43.0%	1,135	36.2%

■射出成形技能検定に関する傾向・課題等

☆1級、2級受検者とも基本的な知識、経験が不足しており、不具合製品に対する要因を明確にする知識も著しく低下している。
☆特に射出速度、射出2次圧切替位置、保圧力の関係が把握されていない為、ウエルドライン、フローマーク、ヒケ、バリ対応が出来ない。又、金型の傷か、型開き後に発生した傷の判断も出来ない。
☆ここ数年、検定時間内で金型を外せず打ち切り及び、欠品者の割合が非常に高い。最大の原因は、最後のPE樹脂への切替技術力が不足していると考えられる。

富山県プラスチック工業会認定

押出成形（1級）技能検定

	年 度	受 檢 申請者	学 科			実 技			技 能 士	
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率	合格者	合格率
富山県	平成23年	4	3	2	66.7%	4	3	75.0%	1	
	平成24年	7	5	4	80.0%	4	2	50.0%	3	
	平成25年	5	3	3	100.0%	5	3	60.0%	3	
	平成26年	6	6	4	66.7%	4	3	75.0%	2	
	平成27年	11	8	5	62.5%	6	3	50.0%	4	

押出成形（2級）技能検定

	年 度	受 檢 申請者	学 科			実 技			技 能 士	
			受検者	合格者	合格率	受検者	合格者	合格率	合格者	合格率
富山県	平成21年	21	17	8	47.1%	19	17	89.5%	9	
	平成22年	22	20	13	65.0%	12	11	91.7%	13	
	平成23年	20	19	11	57.9%	10	8	80.0%	8	
	平成24年	18	15	11	73.3%	10	9	90.0%	8	
	平成25年	19	13	7	53.8%	9	9	100.0%	7	
	平成26年	18	13	11	84.6%	10	8	80.0%	10	
	平成27年	12	8	5	62.5%	8	5	62.5%	5	

■押出成形技能検定に関する傾向・課題等

☆実技では1級、2級とも一つ一つの作業手順の確認が不足している。
☆又1級では3人に2人、2級では3人に1人が時間内に作業を終えることが出来なかった。
☆学科では、合格者は高得点者が多かったが、準備が非常に不足している受検者も見受けられた。
☆今年度より県の施設から会員企業様に設備一式を移設しての検定試験となりました。
会員企業様には、設備移設から今回の検定に関して、いろいろとご協力頂き有難うございました。改めてお礼申し上げます。



認定式

研修講習事業報告

青年部会研修会

■第1回

と き：平成27年7月29日(水)

と こ ろ：富山技術交流センター2階研修室

講 演：「夢を追いかけて」

講 師：三光合成(株) 特別顧問 梅崎 潤氏

■第2回

と き：平成27年11月17日(火)

視察先：朝日印刷(株) 富山工場

プラスチック成形技術高度化セミナー

■セミナーI

と き：平成27年8月25日(火)

と こ ろ：富山技術交流センター2階研修室

講 演：「射出成形不良の未然防止のための成形技術」

講 師：高野技術士事務所 所長 高野 菊雄氏

■セミナーII

と き：平成27年10月27日(火)

と こ ろ：富山技術交流センター2階研修室

講 演：「金型における熱の流れ（伝熱）を知る」

講 師：東京工業大学 大学院理工学研究科

准教授 齊藤 卓志氏

押出成形実技講習

と き：平成27年10月6日(火)～15日(木)

と こ ろ：株トヨックス 北工場

講 師：押出成形研究会メンバー



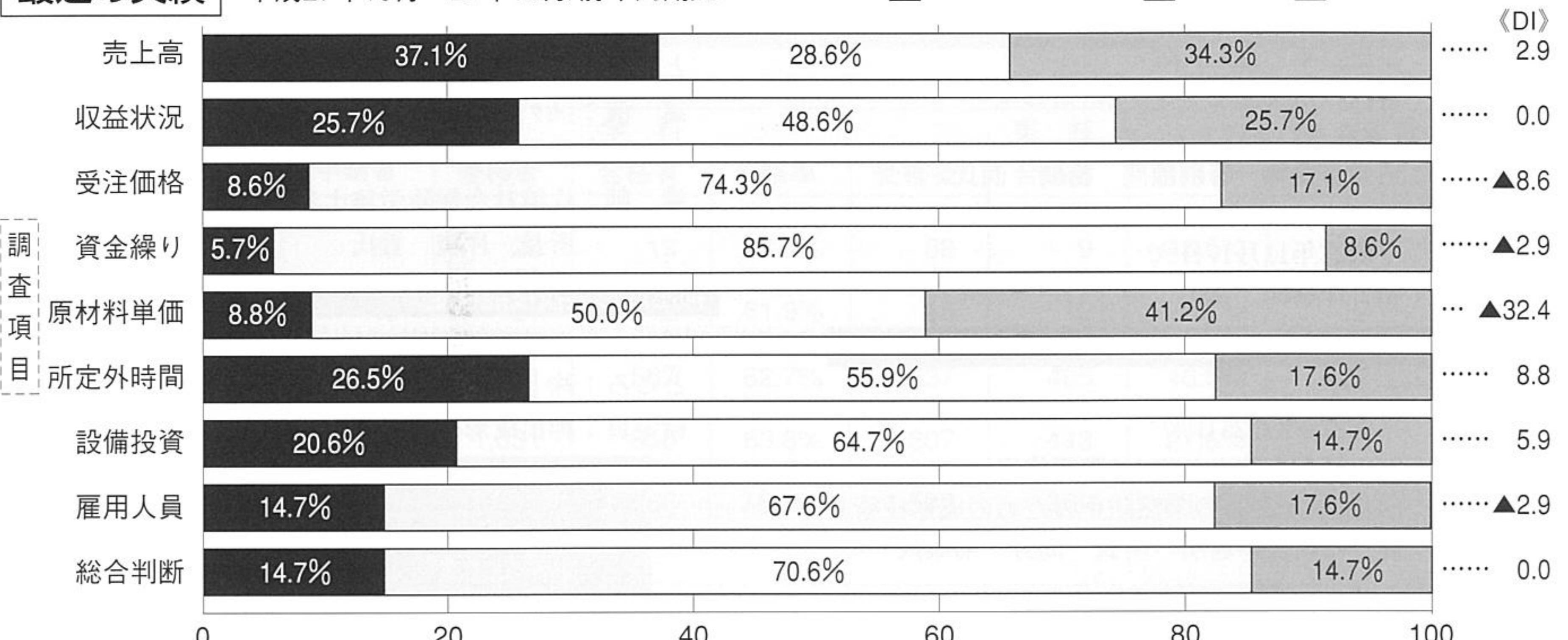
後期レベルアップ研修会

会員企業による景況調査

最近の実績

平成27年10月～27年12月/前年同期比

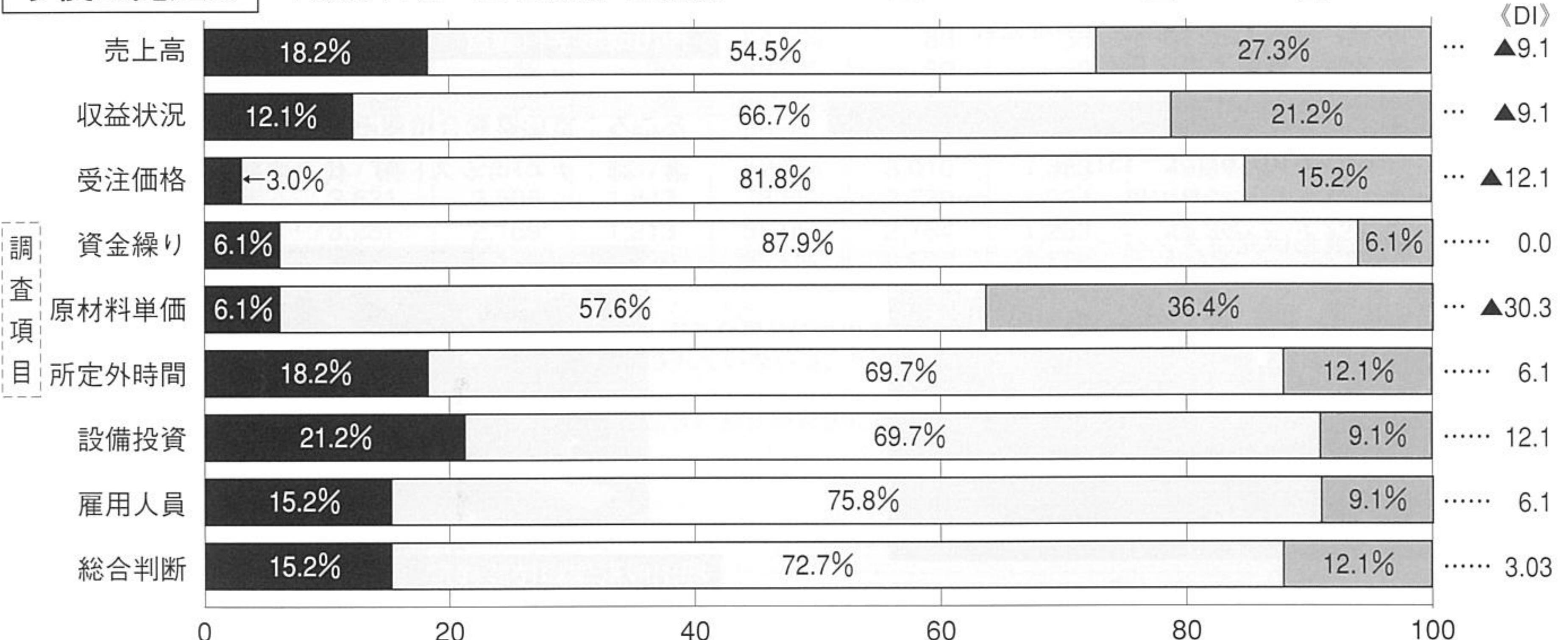
■増加・好転・上昇 □変わらず ■減少・悪化・低下



今後の見込み

平成28年1月～28年3月/前年同期比

■増加・好転・上昇 □変わらず ■減少・悪化・低下



■雇用について

■円安基調の影響について

①28年度学卒者入社予定ある	42.9%
ない	51.4%
未定	5.7%

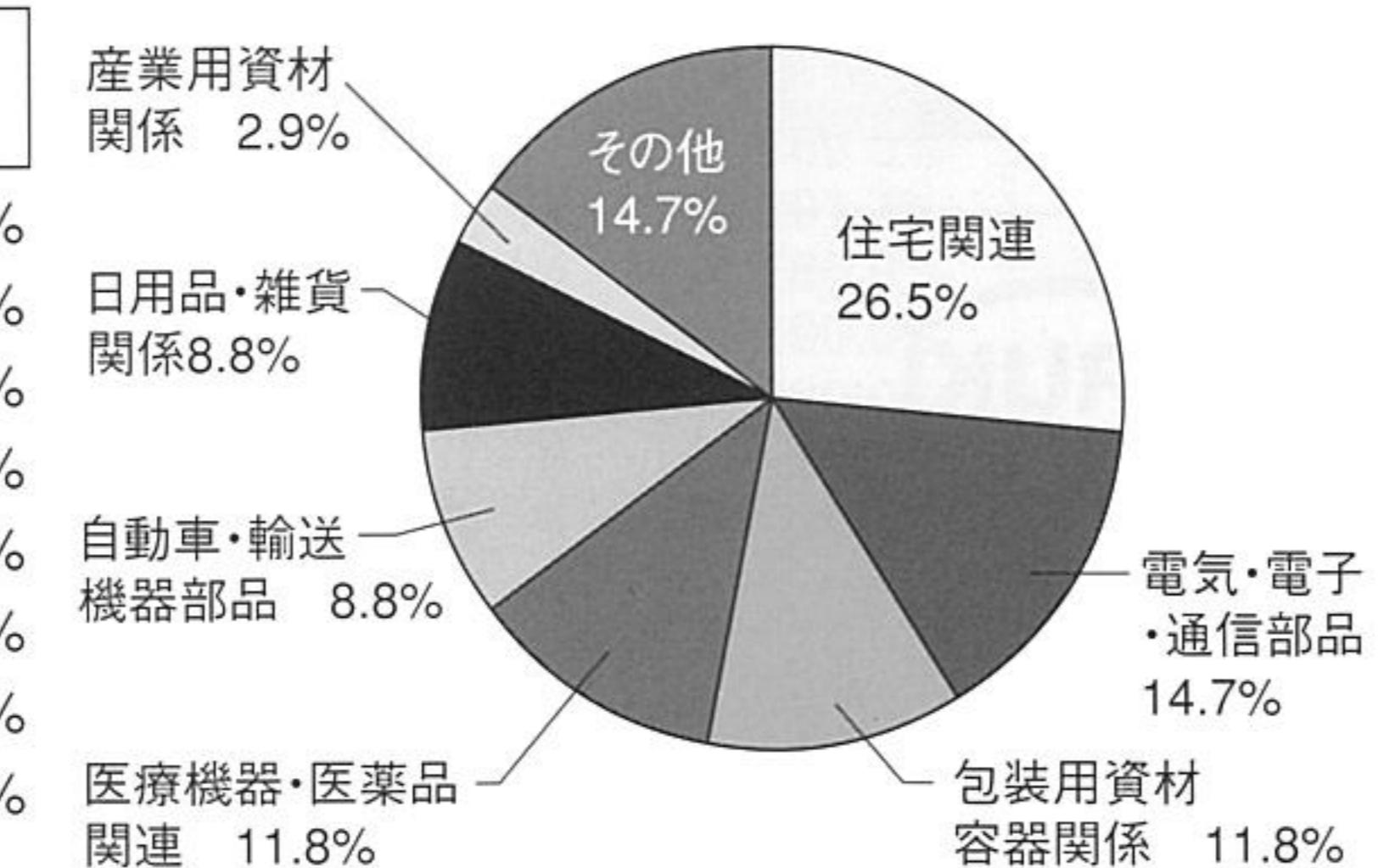
②28年1月～6月の中途採用実績・予定

ある	42.9%
ない	25.7%
未定	31.4%

③28年1月～6月の雇用削減実績・予定

ある	0.0%
ない	85.7%
未定	14.3%

■売上(取扱い)商品の中で最もウエイトが高いのは?(34社回答)



プラスチック関連データ

■加工機械生産実績

金額: 百万円

合計	射出成形機								押出成形機				プロアーム機	
	計		型総力100t未満		型総力200t以上		型総力500t以上		本体		付属装置		本体	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
H22	12,984	147,369	11,180	115,147	4,454	27,599	4,087	33,919	2,151	32,467	488	21,162	399	11,290
H23	13,319	173,032	11,411	125,212	4,221	26,823	4,426	38,041	2,195	33,232	569	27,116	472	23,946
H24	13,523	183,827	11,519	133,827	4,109	26,256	4,433	39,934	2,333	33,546	644	34,091	425	25,505
H25	12,667	176,000	10,765	129,486	3,499	21,742	4,103	37,971	2,514	36,674	649	33,099	449	18,927
H26	13,708	193,780	11,739	143,209	3,593	23,910	4,844	45,297	2,568	38,322	734	35,680	484	22,339
H27.6月	1,223	15,347	1,054	12,504	320	2,164	438	4,421	244	3,633	52	2,286	45	634
前年同月比%	107.8	114.4	107.3	115.2	105.3	113.1	109.8	127.1	101.7	106.0	133.3	112.4	115.4	81.5
H27.7月	1,275	19,400	1,135	13,890	357	2,319	469	4,174	257	4,292	52	3,105	24	3,190
前年同月比%	101.8	117.5	102.6	102.7	121.4	124.9	93.4	83.0	101.2	121.4	92.9	100.0	72.7	218.6
H27.8月	1,179	17,623	1,032	13,728	322	2,091	391	3,473	249	3,641	70	4,523	28	1,098
前年同月比%	95.5	101.0	97.3	116.7	92.5	95.1	84.1	86.7	127.0	120.1	134.6	178.6	71.8	42.9
H27.9月	1,305	18,812	1,081	12,432	337	2,210	436	3,829	247	3,708	61	2,685	65	2,058
前年同月比%	102.8	98.7	100.7	99.3	109.1	108.2	94.4	99.2	105.1	103.4	89.7	88.5	166.7	63.9
H27.10月	1,215	16,204	1,101	13,879	365	2,492	396	3,376	258	3,840	82	4,171	17	410
前年同月比%	117.8	110.5	123.7	127.8	161.5	149.1	102.3	91.2	116.2	116.0	149.1	191.3	53.1	38.0
0	20	40	60	80	100									

■原料生産実績

単位: トン

計	原料生産実績											
	フェノール樹脂	ポリエチレン	ポリスチレン	ポリプロピレン	メタクリル樹脂	塩化ビニル樹脂	ポリカーボネート	ポリアセタール	PET樹脂	PBT樹脂	その他樹脂	
H22	12,275,714	284,151	2,963,443	1,384,707	2,709,023	215,279	1,749,016	369,270	142,643	631,101	187,120	1,639,961
H23	11,237,030	276,078	2,834,368	1,275,470	2,448,358	202,560	1,529,060	300,653	138,500	565,469	178,714	1,487,800
H24	10,539,548	274,564	2,604,904	1,167,702	2,390,256	172,554	1,330,785	316,797	123,954	472,061	182,168	1,503,803
H25	10,579,334	287,515	2,630,960	1,189,070	2,248,199	162,512	1,486,633	309,208	122,958	526,163	159,942	1,456,174
H26	10,570,102	284,080	2,639,042	1,162,553	2,348,567							